CASIO

clean & green

山形カシオ株式会社
環境サイトレポート 2014

～地球に優しく地域に根付くエコファクトリー～

山形カシオ環境方針

改訂日　2014年 7 月 29 日
制定日　1997年 8 月　7 日

基本理念

山形カシオ株式会社は、カシオグループとして「カシオ環境ビジョン2050」、「カシオ環境宣言2020」を尊重し、地球環境保全が人類共通かつ、事業活動の最重要課題の一つであることを認識し、環境に配慮した事業活動を積極的に推進します。

基本方針

1. 山形カシオが行う事業活動が環境に与える影響を把握し、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定めてその実現を図ると共に、環境管理システムの継続的な改善を推進します。
2. 環境関連の法律、条例、協定及びカシオグループの一員として『カシオ環境宣言2020』を尊重すると共に、更に自主基準を設定して、汚染の予防を図ります。
3. 事業活動を通じ、省エネルギー、省資源化を図ります。
4. 事業活動による廃棄物の削減、リユース化、リサイクル化を推進し、環境の保全を図ります。
5. 生物多様性の保全を図ります。
6. 環境教育や社内広報活動を通して、当社内で働く全ての人に環境方針の徹底を図ります。
7. 環境方針は、要求に応じて公開します。

代表取締役社長　磯崎 雅樹

山形カシオ株式会社 環境サイトレポート 2014

ごあいさつ

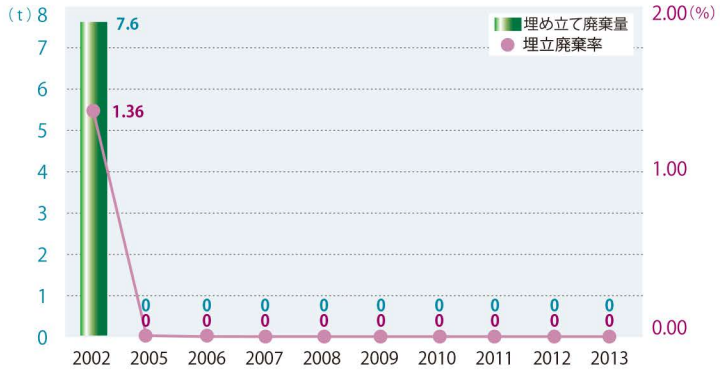
山形カシオ株式会社は、ISO14001の認証を取得して以来、産業廃棄物リサイクルの促進（ゼロエミッションの達成）、CO２排出量の削減など環境保全への取り組みを強化してきました。特に当年度は、電力供給状況の厳しさを踏まえ、計画的に設備投資を行ってきた「電力監視システム」を有効に活用し、従業員全員が一丸となって、夏場／冬場の節電に努めてまいりました。今後も、地球環境保全を第一に考え、事業活動と環境保全の両立を目指し、技術的な課題に積極的に取り組むとともに、職場のみならず家庭においても、従業員一人ひとりが、環境保全活動に取り組み、社会の持続的成長の実現に貢献していきます。

代表取締役社長　磯崎 雅樹

主要環境目標・結果（2013年度）

項 目		目標	実績
産業廃棄物の削減 ●ゼロエミッションの継続 「産業廃棄物発生量の削減」	廃棄物埋立率	0.05%	0%
省エネルギー 前年比１%以上削減	原油換算使用量	1%以上削減	9%削減
汚染の予防（鉛フリー半田使用率＝鉛フリー半田使用量（kg）／総半田使用量（kg））	鉛フリー半田使用率	90%	98%
省資源 「成形不良率低減」（原単位＝2009年度不良率を100と換算）	成形不良率原単位	42	9.3
「用紙の使用量削減」（枚数／サービス受付１件）	用紙の使用量	1.0枚 以下／受付１件	0.4枚 以下／受付１件
法の順守	環境汚染につながる事故発生	0 件 法規制値及び自主基準値のクリアー	0 件 法規制値及び自主基準値のクリアー

廃棄物発生量の削減：埋立廃棄量と埋立廃棄率の推移



2013年度も、ゼロエミッションを継続できております。今後は廃プラスチック材の有価物化を更に進め、廃棄物の低減を図ります。

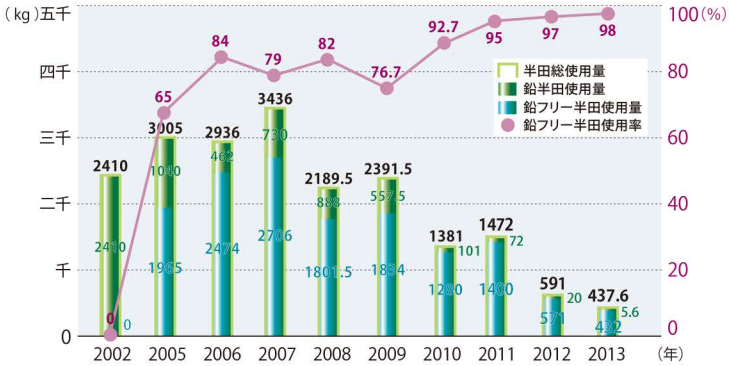
カシオグループのゼロエミッション定義

埋立廃棄率 ＝（埋立廃棄量／産業廃棄物発生量）×100 が 1%以下であること。

省エネルギー：CO2 排出量の推移

2013年度は、省エネ委員会の活動を通じて、重油換算総量（年間）では、2012年度比では、△9%の減少となっております。工場スペース生産性の改善に取り組み、工場内のスペースロスの削減に取組みました。

汚染の予防：鉛フリー半田使用率の推移



2013年度は鉛フリー半田使用量は98%台と改善いたしております。カシオブランド商品は、すべて鉛フリー化を達成しており、EMS事業において継続的にご注文を頂いている商品から、新しい商品への移行によりEMS事業においても鉛フリー化率が向上しました。

水資源保護：水資源使用量と原単位の推移

2013年度の水資源使用量原単位は38千m³と前年度に比べて約20%減少しました。これは、エネルギー同様、工場稼動スペースの圧縮に伴い、空調や生活水の削減に効果があった為です。

水資源原単位(Ｋm3/人)＝水資源使用量(Ｋm3)÷従業員数　と定義しました。

2013年のマテリアルバランス

インプット

エネルギー投入量	2534.3 kℓ 原油換算
電力量	9140.6 千Kwh
燃　料	239.3 kL 原油換算
水資源投入量	38.1 千m³
SF6以外の温室効果ガス投入量	なし
SF6(六フッ化硫黄)投入量	なし
VOC(揮発性有機化合物)投入量	なし
紙使用量 ※1	5.9 t
PRTR 対象化学物質投入量	0.0 t

山形カシオ

・本社
・村山工場

循環資源

アウトプット

温室効果ガス	
CO_2 排出量	5088.9 t - CO_2換算
SF6 排出量	なし
大気汚染物質	
NOx	0.2 t
SOx	0.4 t
ばいじん	0.0 t
VOC 大気排出量	なし
排水量	17.0 千㎥
BOD	2.2 t
PRTR 対象化学物質排出量・移動量	0.0 t
排出量	0.0 t
移動量	0.0 t

廃棄物等発生量		460.1 t
廃棄物発生量		193.7 t
有価物発生量		266.4 t
最終埋立処分量		0.0 t
減量化	単純焼却	42.2 t
	熱回収焼却	72.8 t
	脱水処理	2.0 t
再資源化量		412.3 t
埋立 / 排出量比※2		0.0 %
再資源化率		89.6 %

※1 コピー用紙、事務用紙

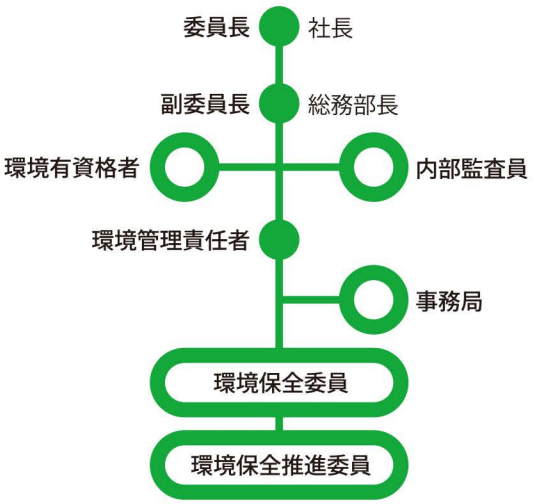
※2 埋立／排出量比が 1%以下であることから、ゼロエミッションを達成しています。

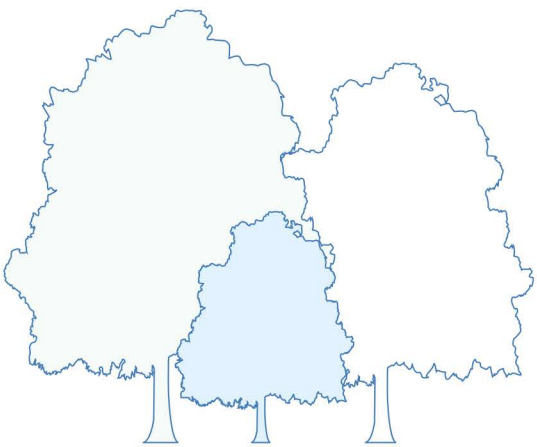
環境活動経緯

- **1996. 4** 環境活動開始
- **1997. 11** ISO14001認証取得
- 埋立廃棄物の削減
- 廃プラスチックのリサイクル開始
- 省エネルギーの推進
- 省資源化の推進
- **2000. 7** 廃プラスチック類リサイクル化完了
- **2001. 3** プリント基板有機溶剤洗浄槽の廃止
- **11** 焼却炉の廃止
- **2002.** 埋立廃棄量削減（1998年度205t→2002年度12t）
- **2003. 5** 圧縮機導入（廃プラスチック減容化）
- **6** ゼロエミッション達成
- コジェネレーション設備本格稼動
- **2004. 6** さくらんぼマラソン大会協賛開始
- **2005. 6** 山形県知事賞受賞（環境保全推進賞）
- **11** 日経ものづくり大賞受賞
- **11** 東根市環境週間イベント参加開始
- **12** TPM特別賞受賞
- **12** バイオ処理開始（有機汚泥排出量の削減）
- **2006. 7** 環境サイトレポート発行開始
- **8** 氷蓄熱機能付きヒートポンプエアコン導入
- 初期照度補償機能付きインバーター蛍光灯＆Hf管導入
- **10** コジェネレーション廃止
- **2007. 1** あかり安心サービス導入
- **2** 省エネ委員会設置
- **4** エネルギー管理システム機能アップ
- **5** 高効率変圧器段階的導入開始
- 氷蓄熱機能付きヒートポンプエアコン増設
- **10** ものづくり日本大賞 優秀賞受賞
- **2008. 3** ヒートポンプエアコン導入＆空調の細分化
- **2009. 3** 高効率変圧器への更新完了
- **2010. 5** 食堂空調のヒートポンプエアコンへの更新
- **2011. 3** 社有車ハイブリッドカーの導入拡大

環境保全推進体制（ISO14001 マネジメントシステム）

当社全体の環境保全活動を推進する体制で「**主要環境行動目標・結果**」「**社会への貢献**」「**外部コミュニケーション**」をテーマに活動。





社会への貢献・外部コミュニケーション

さくらんぼマラソン

毎年6月に開催の「さくらんぼマラソン」に協賛しています。カシオ計算機（株）グループの方々からも、多数の参加協力を頂き、大会への参加はもちろん、大会当日の給水所の協力などで間接的にも協力し、地域社会への貢献にも尽力いたしております。

会社近隣の清掃活動

当社、敷地内の除草、清掃はもちろん、所在している「東根・大森工業団地」内、工場周辺の除草、清掃活動を行っております。

中学生の体験学習・環境教育

県内近隣の中学生向けに夏休みを利用して実施されている「職場体験学習」の機会を通して、当社環境活動の紹介や家庭の省エネなどの学習教育を通して、地域社会への貢献を図っています。

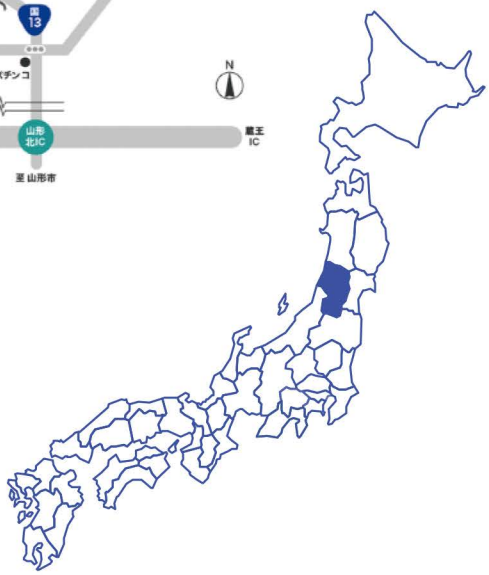
次世代育成支援への取り組み

2007年5月に山形労働局より山形県内初の「次世代育成支援政策推進法」の認定事業主として認定されました。これは従業員の仕事と子育ての両立支援への取り組みが評価されたものです。

会社概要

2014年3月31日現在

社名	山形カシオ株式会社
代表者	代表取締役社長　磯崎 雅樹
ＵＲＬ	http://www.yamagata-casio.co.jp
所在地	本 社　山形県東根市大字東根甲5400番地の1
	山梨事業所　山梨県笛吹市一宮町東原911−3
売上高	203億円
資本金	15億円
従業員数	700名
事業構成	時計、デジタルカメラ、金型設計・製造、成形品



この報告書に関するご意見
お問い合わせは下記まで

山形カシオ株式会社 総務部 総務課

〒999-3701
山形県東根市大字東根甲5400-1
TEL：0237-43-5112　FAX：0237-43-6784
E-mail katoy-yam@casio.co.jp

〔環境サイトレポート対象期間〕2013年4月～2014年3月
〔対象範囲〕本社、村山工場　〔発行日〕2014年8月